

# 育友会の委員会活動いろいろ

育友会にはいろいろな委員会があります。それぞれの委員会の活動をご紹介します。

## スポーツ応援推進委員会

### 卓球部の応援に熱くなる



委員長 平川博幸 (育友会副会長、法3父)

皆さんこんにちは、スポーツ応援推進委員会です。私たちは育友会として体育会の学生たちを応援しております。

さて、9月3日に港区スポーツセンターにて開催された卓球部の「平成28年度関東学生秋季リーグ戦」第4戦の視察応援に行ってきました。卓球はあまりメジャーではありませんが、オリンピックでの活躍もあり、会場は熱気で包まれていました(気温のせいかもしれませんが)。男子と女子の試合が同時に行われますが、委員は男子女子で分かれ応援し、私は男子の方を応援しました。男子の対戦は早稲田大学で、幸先よく第1セットを取ったのですが、調子が上がらず、1対3と後がなくなってしまいました。ところが追い上げ接戦となりがっぶり四つの様相で、他校が早く試合が終わったこともあり、空いた会場を使い、6番7番が2試合同時に行われました。

先に7番が勝ち、3対3で6番の結果待ちとなり、卓球部OBやS.S.C(専修大学スポーツ・サポーターズクラブ)の方々と力を合わせ、声援を送りました。しかし、我々の力が及ばず、最終的には3対4と惜敗し、大会3位という結果になりました。女子の方も中央大相手に1対4という結果でした。残念でしたが卓球部の皆さん、熱い戦いがありました。そして、育友会員の皆さんも、ぜひ応援に足を運びましょう。



↑卓球部男子、早大との試合



↑卓球部女子、中大との試合



→9月25日、相撲部を応援



←11月20日、アイスホッケー部を応援

### 応援する側も熱くなる



磯 和明  
(育友会副会長、商2父)

本気の卓球の応援は初めて。1球ごとの一進一退の攻防には思わず引き込まれます。サービス時の選手の集中力が見えがあり、気持ちが入りすぎるとサーブミス。やはりメンタルの強さが必要か。男子の勝敗が決まる最後の試合はリードが入れ替わる緊迫の試合。選手の1球ごとの気迫・集中力、ベンチの気合いの入った応援はこちらにも伝わってきました。やはり本気の試合は応援する側も熱くなり、今後も専修学生を応援したい気持ちになりました。これからも日々の練習を積み重ね、持てる力を出しきって戦ってほしいです。

### 卓球は格闘技だ!!



小林 宏  
(育友会父母幹事、文1父)

オリンピックでの日本選手の華々しい活躍の熱が冷めやらぬ中、秋季関東学生卓球リーグ戦(1部)へ応援に出かけました。男女共に3戦全勝で迎えた4戦目、男子は早稲田大学、女子は中央大学と、共にライバル校との対戦。白熱したラリーの応酬で大熱戦でしたが残念ながら男女共に惜敗。しかし、選手一人一人が攻めの卓球に徹し、正に格闘技のごとく真剣な打ち合いに応援するこちらにも興奮し、思わず大きな声を上げ熱い応援になりました。これからの男女卓球部の活躍に大いに期待したいと思います。

### 息遣いが伝わる迫力!



板倉 充  
(育友会父母幹事、経済4父)

リオデジャネイロオリンピックでの日本卓球選手団の活躍が記憶に新しい9月3日に開催された平成28年度秋季関東学生リーグ戦は、我々育友会のメンバーは言うに及ばず、各大学の父母や卓球部のOB、OG達の熱気にあふれていました。テレビで観戦するのは違い、1球、1球の結果に一喜一憂する選手の息遣いが分かるほど近い応援席での観戦に、育友会のメンバーも大変興奮しました。東京オリンピックの卓球選手に、この中から選ばれたいと思う良いなと思いながら、会場を後にしました。

## 「お休み処・育友」委員会

## 来場者も私たちも、誰もが楽しめる鳳祭を

委員長 とうひらゆたみ  
東平豊三 (育友会副会長、商3母)

「お休み処・育友」委員会は、専修大学の大学祭“鳳祭”の来場者に休憩していただく喫茶室を運営しています。今年は、常任役員及び幹事合わせて多数の皆さんに運営委員としてご協力いただきました。事前に2回の委員会を開催し、設営、当日配置、展示物、じゃんけん大会など多岐にわたり打ち合わせをしました。中でも1番の懸念事項がじゃんけん大会でした。じゃんけん大会は、鳳祭に出店するサークルへの援助を目的とし、勝者に1枚100円の鳳祭チケット(金券)を配布するものです。

今年は、特定のサークルに集中しないよう移動式じゃんけん大会を行いました。そのため枚数も多く配布できませんでしたが、1枚1枚実のあるじゃんけん大会になったのではないかと思います。喫茶室には、スポーツ応援推進委員会より写真をお借りして展示しました。今後も様々な育友会活動の様子を

お伝えできる場になればと思います。今年は1年生幹事の方々が半数を占め、経験者が少ない状況であったにもかかわらず、個々によく考えて行動くださりスムーズに運営できました。本当に感謝いたします。役員の方々から、とても楽しかった、来年も参加したい等のお声をいただき、私自身も思い出深い委員会となりました。(お休み処・育友の様子は6頁に掲載)



↑ 9月23日の委員会

## 会報『育友』編集委員会

## 読者の意見を参考に、より良い誌面づくりを



委員長 綿貫義文 (育友会副会長、商4父)

編集委員会では、育友会の活動内容、大学行事をはじめ、在学生の様子、教員や卒業生の紹介、大学からのお知らせなどを盛り込んだ会報『育友』を年4回発行し、会員に送付しています(4・7・10・2月)。

委員会は会報を発行する前に開催します。委員の構成は、常任役員、父母幹事(1~4年生)の10名です。育友会事務局の協力を得て、会報の編集計画のもと、直近に発行される会報の進捗状況を確認します。また、毎回実施している「読者アンケートのハガキ集計結果」をもとに読者からの意見・要望を参考にしながら良いものとなるよう話し合い、次号の内容についての確認・承認や新たな掲載記事の発案などを行うなど、読者に喜ばれる会報『育友』となるよう皆で協議・検討を行っています。

委員会では、父母の方々がお子様の大学生活に

ついて特に知りたいと思われる情報を限られた誌面に少しでも反映することができるように努めています。会報『育友』のさらなる充実を目指していますので、皆様からの斬新なご意見・ご要望を当委員会にお寄せいただくと幸いです。お待ちしております。



↑ 12月6日の委員会